

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2008年10月)
～上向かない家計の消費意欲～

発表日2008年11月28日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL : 03-5221-4528

(単位: %)

		商業販売額										コンビニ販売額	
		卸売業				小売業		大型小売店					
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店 前年比	百貨店	スーパー		
既存店 前年比	既存店 前年比									既存店 前年比	前年比	既存店 前年比	
07	1月	2.2	0.7	3.3	1.1	▲0.9	0.6	0.6	▲0.5	0.0	▲0.9	1.7	▲0.7
	2月	3.0	1.9	3.9	1.6	▲0.2	0.7	1.5	0.5	1.5	▲0.1	1.3	▲1.1
	3月	1.3	▲3.0	1.9	▲4.4	▲0.7	▲0.7	▲0.2	▲1.1	▲1.5	▲0.8	0.9	▲1.4
	4月	4.3	3.4	5.8	5.4	▲0.7	0.3	▲0.7	▲1.8	▲1.4	▲2.0	1.6	▲0.6
	5月	5.9	1.8	7.7	2.2	0.1	0.3	0.3	▲0.8	▲0.7	▲0.9	1.7	▲0.6
	6月	4.1	▲0.7	5.4	▲0.8	▲0.4	▲0.3	1.9	0.9	5.1	▲1.9	▲2.0	▲4.2
	7月	4.0	▲0.9	5.9	▲0.6	▲2.3	▲1.9	▲2.5	▲3.8	▲4.4	▲3.4	2.1	▲0.2
	8月	3.0	0.9	3.8	0.3	0.5	3.0	1.7	▲0.1	1.1	▲0.8	2.1	▲0.2
	9月	1.1	▲1.3	1.2	▲1.9	0.5	▲0.6	▲0.2	▲2.0	▲2.7	▲1.5	2.1	0.0
	10月	4.4	2.0	5.4	2.7	0.8	0.4	▲0.1	▲1.7	▲1.6	▲1.8	0.9	▲1.2
	11月	4.1	▲0.3	4.8	▲0.4	1.6	0.1	1.9	0.4	0.8	0.1	1.7	▲0.6
	12月	2.2	▲0.5	2.8	▲0.3	0.2	▲0.7	▲0.4	▲1.5	▲2.2	▲1.0	0.6	▲1.3
08	1月	3.7	0.6	4.5	0.8	1.3	0.8	▲0.8	▲2.0	▲2.1	▲2.0	0.1	▲1.6
	2月	5.6	▲0.2	6.3	▲0.4	3.2	▲0.9	2.7	1.2	1.0	1.4	3.4	▲0.5
	3月	1.5	▲2.4	1.7	▲4.0	1.0	0.4	1.8	0.2	▲1.2	1.3	1.2	▲0.6
	4月	4.3	4.5	5.6	7.2	0.1	▲0.1	▲0.6	▲2.2	▲3.4	▲1.5	1.4	▲0.2
	5月	3.8	2.9	4.8	3.6	0.3	▲0.1	▲0.5	▲2.0	▲2.5	▲1.7	5.1	3.5
	6月	4.0	▲1.2	5.0	▲1.7	0.3	0.0	▲2.6	▲4.0	▲7.3	▲1.7	5.7	4.0
	7月	9.0	3.0	11.0	3.8	2.0	0.1	0.3	▲0.7	▲2.3	0.5	13.3	11.5
	8月	2.9	▲2.5	3.5	▲3.3	0.7	0.7	▲1.0	▲2.2	▲2.9	▲1.8	6.7	5.1
	9月	3.3	▲4.0	4.2	▲5.4	▲0.3	▲0.5	▲2.1	▲3.3	▲4.6	▲2.5	7.5	6.4
	10月	▲1.0	▲0.7	▲1.1	▲0.4	▲0.6	▲0.6	▲2.9	▲4.3	▲6.9	▲2.6	9.8	7.9

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○ 2ヶ月連続でマイナス

10月の小売業販売額は前年比▲0.6%（9月同▲0.3%）と2ヵ月連続でマイナスだった。季節調整値でも前月比▲0.6%と2ヵ月連続で減少している。

10月はガソリン価格下落に伴い燃料小売業の売上が減少したことによって押し下げられている面もあるが、物価上昇の影響を考慮した実質ベースでみても、前年比▲3.5%（9月：同▲3.8%）、前月比▲0.3%と弱めであることは変わらない。財消費が引き続き低調に推移していることが確認できる。物価の伸びが鈍化し、実質購買力の縮小圧力が和らいでいるという好材料はあるのだが、一方でここきて景気の先行き不安が急速に強まっていることから、家計の支出意欲は上向かないままである。景気ウォッチャー調査のコメントなどを読む限りでは、家計の節約モードはむしろ強まっているように見える。株価急落や賃金の減少懸念などが、相当程度、消費に悪影響を与えているようだ。当面、消費は低調な推移が続くと予想される。

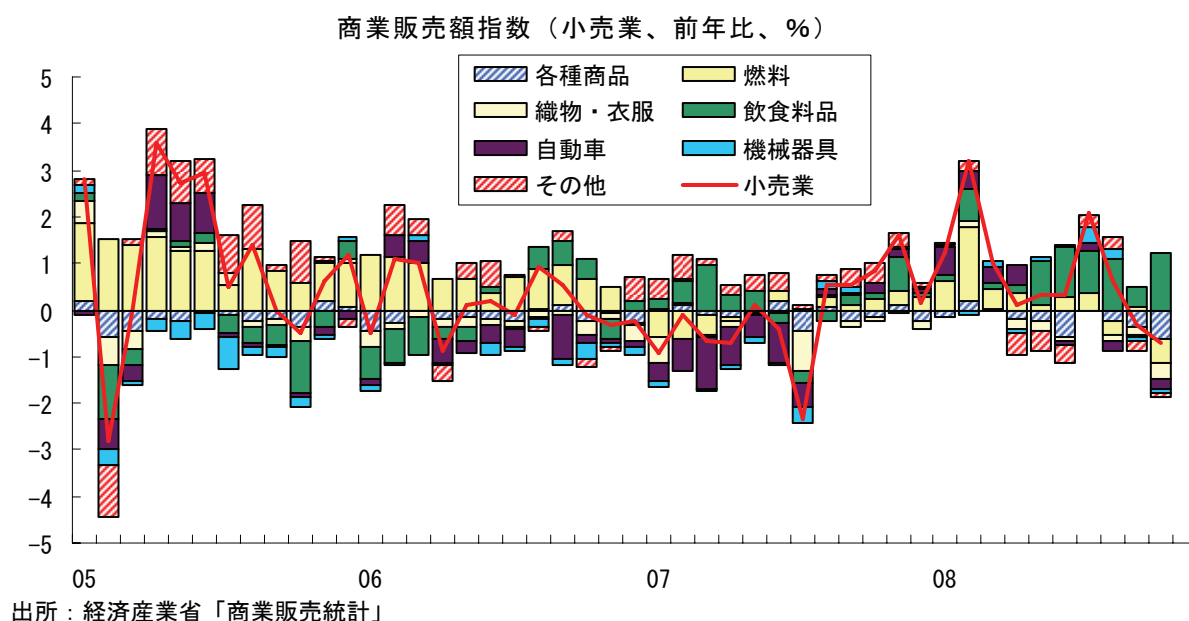
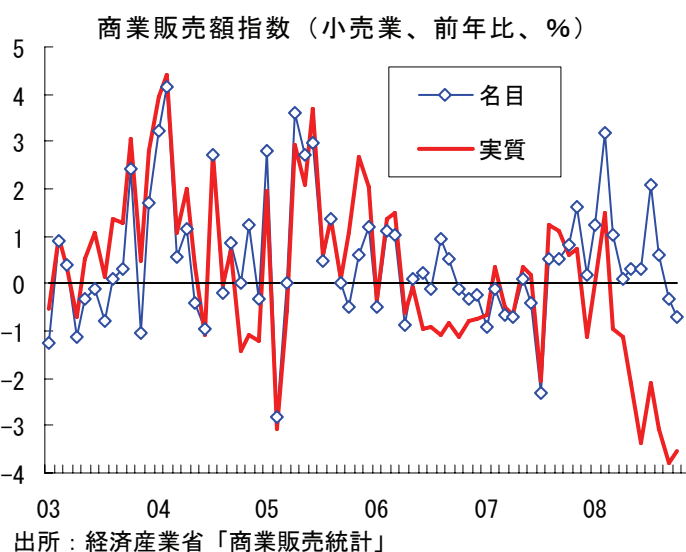
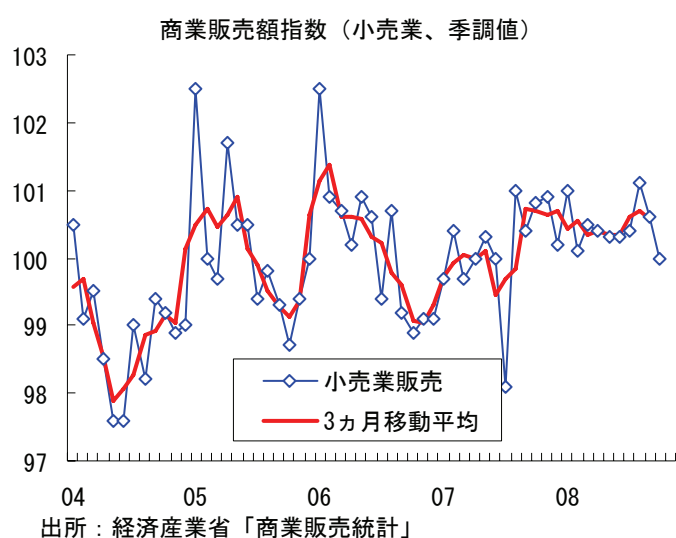
○ 業種別の推移

小売業販売額（名目）を業種別にみると、プラスになったのは飲食料品小売業（前年比+4.1%）のみで、他の業種はすべてマイナスとなっている。プラスだった飲食料品小売業にしても、価格上昇によって押し上げられている側面が強いことに加え、このところの節約モードの強まりから外食を手控えて家で食事をする世帯が増えていることが影響していると考えられ、プラスの評価はできないだろう。

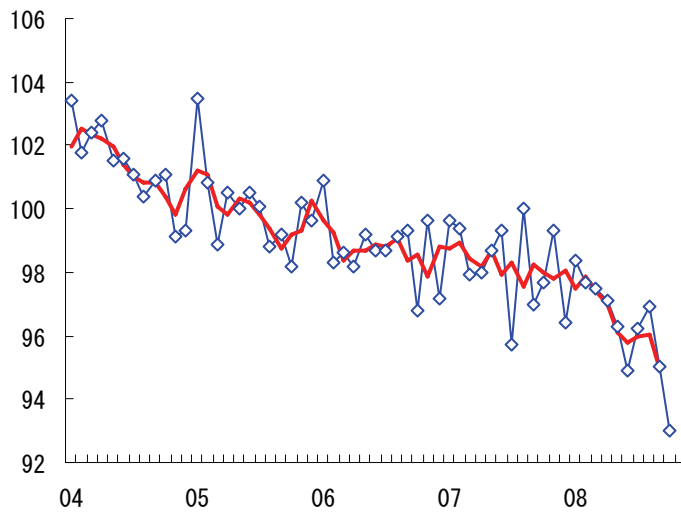
その他の業種をみると、夏場まで大幅な上昇が続いていた燃料小売業は同▲5.2%と、ガソリン価格の下落マイナスに転じている。また、各種商品小売業（同▲4.8%）、織物・衣服・身の回り品小売業（同▲4.0%）は大幅に減少した。10月は気温が例年よりも高かったことが秋冬物衣料の売れ行きを鈍らせたという要因もあるようだが、より本質的な要因としては、景気先行き不安に伴う家計の生活防衛意識の強まりから、衣料品等、不要不急の品目への支出が抑制される傾向が強まっていることがある。今後もこうした傾向は続くだろう。

機械器具小売業も前年比▲1.7%、前月比▲3.8%と悪化した。8月までは北京五輪関連需要によって比較的好調だったが、9月以降はその反動もあって減少している。この調子では年末商戦にも期待はできそうにない。デジタル家電製品の売上が企業の予想以上に不振だった場合、IT関連部品を含めて在庫が積み上がり、生産調整が長引く可能性が強まるだけに懸念されるところだ。

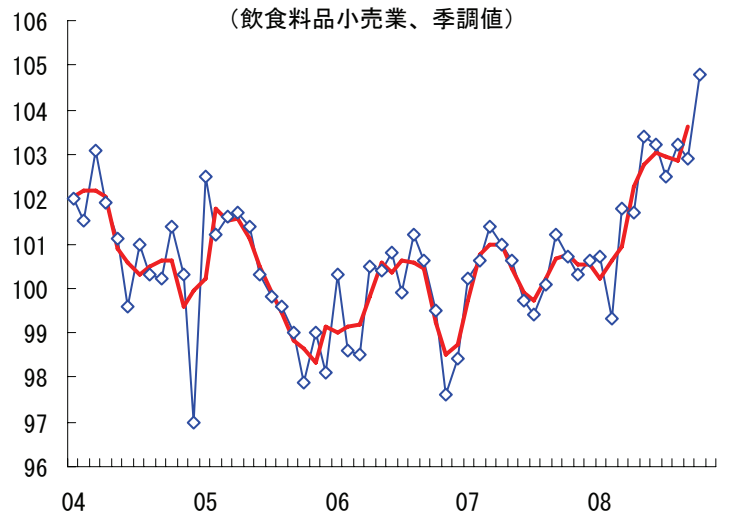
そのほか、自動車小売業については同▲2.0%とマイナスが続いている。海外市場での落ち込みほどではないが、国内の自動車販売も引き続き低調である。



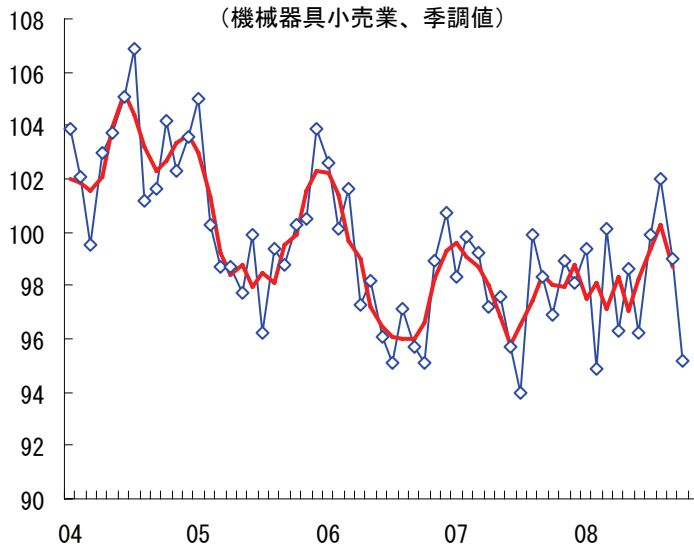
商業販売額指数（各種商品小売業、季調値）



商業販売額指数
（飲食料品小売業、季調値）



商業販売額指数
（機械器具小売業、季調値）



商業販売額指数
（自動車小売業、季調値）

